

数学科単元構想シート ※単元や題材など内容や時間のまとまりで作成する

対象学級

生徒数

担当者

1 単元の目標（何ができるようになるか）※評価規準は、単元の目標に準拠する

知識・技能

思考力・判断力・表現力等

学びに向かう力等

2 単元で働かせる「見方・考え方」

3 単元における「学習課題」と「期待する姿」

【単元の学習課題】

【期待する姿】

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて（数学科における授業改善の視点）

主体的な学び

（学習への興味や関心を高める場面、学習の見通しを持つ場面、学習を振り返り次につなげる場面の設定）

対話的な学び

（自己の思考を広げ深める場面の設定）

深い学び

（見方・考え方を働かせながら思考・判断・表現する場面の設定）

4 単元の指導と評価の計画（全 時間）

時間	学習内容	【評価の観点】 評価規準 [評価方法]	学習課題（■）と主な学習活動（◎，○） ※学習活動を複数記述した場合，重点（◎），それ以外（○） 単元の中で「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の 実現を目指す主な場面		
			主体的な学び	対話的な学び	深い学び

※「主体的・対話的で深い学び」は、1 単位時間の授業の中で全てが実現されるものではなく、単元や題材のまとまりの中で、例えば主体的に学習を見直し振り返る場面をどこに設定するか、グループなどで対話する場面をどこに設定するか、学びの深まりを作り出すために、子供が考える場面と教員が教える場面をどのように組み立てるか、といった視点で実現していくことが求められると「答申」で述べられています。